

20/8 期は半導体製造装置向け好調で 22.2%増収 84.5%営業増予想、21/8 期も上伸続く

株価 (7/13) 1323 円 時価総額 113 億円 (7/13) 発行済株 8,586 千株 (7/13)

PER (DO20/8 期予 : 14.7X) PBR (1.95X) 配当 8 円 配当利回り 0.6%

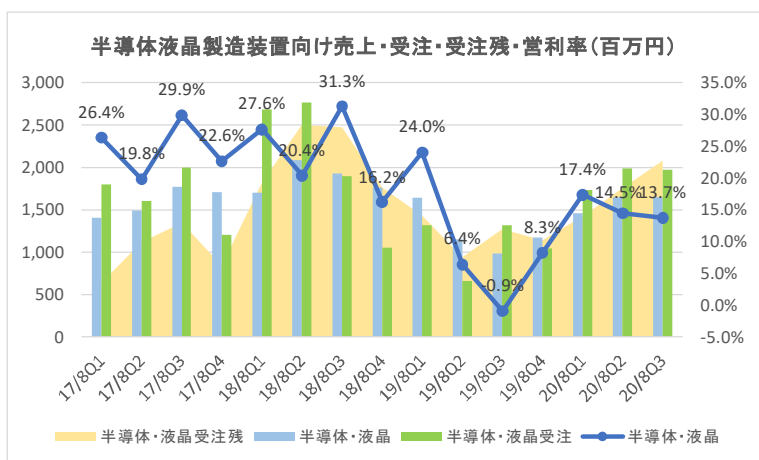
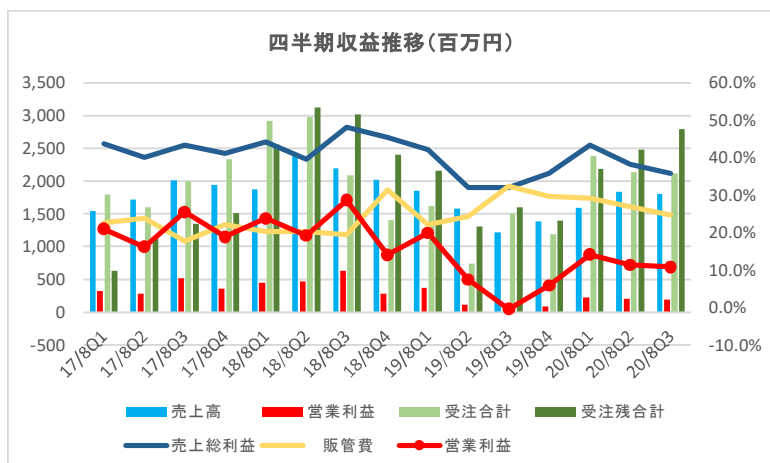
要約

- 20/8Q3 は 12.5%増収、30.7%営業増、受注 71.6%増と急回復
- 20/8 期は Q1 増額修正予想を変更せず 22.2%増収 84.5%営業増予想
- 21/8 期は 5G、IoT 拡大、コロナでノート PC 増も寄与し収益上伸、22/8 期は最高益更新へ
- 株価は年初来高値 2030 円を意識しアウトパフォーム継続

20/8Q3 は 12.5%増収、30.7%営業増、受注 71.6%増と急回復

20/8Q3 決算が 7/10 に開示された。20/8Q3 累計は売上高 52.45 億円 (12.5%増)、営業利益 6.36 億円 (30.7%増)、受注高 66.4 億円 (71.6%増) と、5G やデータセンタ関連投資増で半導体設備投資が復調、半導体製造装置向けなどの受注急増で収益が急回復した。Q3 だけでは売上高 18.08 億円 (35.8%増)、営業利益 1.97 億円 (億円改善し黒字転換)、受注 21.23 億円 (40.6%増) となっている。

四半期セグメント別では半導体・液晶関連事業が売上高 16.52 億円 (前年同期比 67.0%増、営業利益 2.27 億円 (2.36 億円改善し黒転)、受注高 19.76 億円 (同 49.7%増)、受注残高 20.82 億円



(同 63.3%増)と、5G 向け半導体製造装置を中心に受注急回復継続で収益も上伸した。一方、IDX 関連は売上高 1.57 億円 (31.1%減)、営業損失 0.30 億円 (0.35 億円悪化し赤字転落)、受注高も 1.48 億円 (22.1%減)、受注残 7.14 億円 (2.1 倍)と、Q1 に重粒子線治療装置向け受注を獲得し受注残は膨らんでいるが、研究機関向けの長期低迷に加え、ウエハ引上用装置向け電源出が一服し、低迷した。

20/8 期は Q1 増額修正予想を変更せず 22.2%増収 84.5%増営利増予想

会社側は 1/10 に開示した 20/8 期会社増額修正予想を変更せず、売上高 74 億円 (22.2%増)、営業利益 10.5 億円 (84.5%増)、経常利益 11.0 億円 (2.1 倍増)、税引利益 7.7 億円 (2.2 倍増) 予想とした。

半導体・液晶関連事業はロジック向け需要が TSMC や Intel の設備増強などが本格化し好調持続見通し。光学薄膜向けも、5G 対応でカメラレンズ複眼化加速などから受注が拡大しよう。なお足元 Q4 受注は落ち着いているとのこと。一方、IDX は大学・研究所向けが依然低迷、重粒子線治療用電源受注はあるものの、直流バイポーラ電源などスマホ、半導体製造向け新規売上計上寄与はわずかと見られ、計画を若干下回る売上、営利では若干の赤字が見込まれる。

営業利益は大半を半導体・液晶関連事業で稼ぎ出し、大幅増収に加え総利益率も改善し、大幅増益に。現状、昨年 11 月に完成したベトナム工場の本格生産開始により、豊富な受注残の消化も進みはじめ、増収効果による稼働率アップ、コロナ影響が軽微である台湾、中国のユーザーが中心であるため、会社予想収益の達成が見込める。

21/8 期は 5G、IoT 拡大、コロナでノート PC 増も寄与し収益上伸、22/8 期は最高益更新へ

21/8 期はロジック向けに加え、メモリ向でも半導体製造装置向けプラズマ電源の回復が期待される。加えて 5G 端末対応でガラス筐体向けに光学薄膜製造装置向けもピーク受注を超える期待がある。FPD も有機 EL 投資が中心では蒸着装置が多用され、有機 EL が水分を嫌うためイオンアシストが必要で、イオンアシスト源向けにプラズマ電源需要が増加する期待もある。加えて今回のコロナウイルス騒動で世界的にリモートワーク、遠隔教育など、改めてデータセンタやノート PC 向けにメモリ需要も盛り上がる可能性が出ており、エッチング装置向け増加でベトナム工場の生産能力アップから収益上伸が見込める。

また IDX の高電圧直流電源装置はタッチパネル向け製造装置向けに新規受注拡大が期待できる。さらにプラズマ医療機器のステリプラスは欧州で 2021 年中にも保険適用の可能性があり、新たな柱として拡大が期待される。このような環境から、21/8 期も収益上伸が見込まれ、22/8 期には過去最高益更新が期待される。

株価は年初来高値 2030 円を意識しアウトパフォーム継続

株価は 1/10 の Q1 決算発表時の増額修正を受け、1/24 には年初来高値 2030 円を付けた

が、その後全体相場の下落で 3/13 には 1053 円の安値を付け、4/10 の上期決算で Q2 が増益に転じたことを受け、4/20 には 1714 円の戻り高値をつけたあと、スマホ端末伸び悩みなどの観測もあり、株価はその後一服している。Q3 決算が好調であったものの、コンセンサスに届かなかったとして 7/13 の株価は下振れ、5.8%下落し 1323 円の引けとなった。但し受注も伸びており、受注残高も積み上がり、来期も収益上伸が見込める。また四季報予想で下ブレとされているが、重粒子線治療用電源の売上が今期に計上されるとの事で、会社予想並みの売上が見込めると判断した。今後も先端半導体生産設備増強から収益拡大が見込まれ、当面 1/24 の年初来高値 2030 円を目標にアウトパフォーム継続とする。なお、中期的には 22/8 期に最高益更新が見込まれ、2014 年 10 月末高値の 2696 円も視野に入ってくる。

アドテックプラズマテクノロジー(6668)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/8期	6,055	-28.8%	569	-68.8%	515	-72.1%	352	-72.9%	41.0	8.00	
20/8Q1	1,595	-14.1%	227	-38.7%	286	-21.9%	201	-26.4%	23.5	0.00	
20/8Q2会予(1/10)	1,705	7.5%	253	26.5%	244	78.1%	169	94.3%	19.6	4.00	
20/8Q2	1,842	16.1%	210	5.0%	218	59.1%	167	92.0%	19.4	4.00	
20/8Q3	1,808	48.3%	196	黒転	140	黒転	96	黒転	11.2	0.00	
20/8Q4会予(7/10)	2,155	54.7%	414	398.8%	456	776.9%	305	376.6%	35.5	4.00	
20/8H1期初会予	3,100	-10.0%	280	-42.9%	280	-44.5%	180	-50.2%	21.0	4.00	
20/8H1修正会予(1/10)	3,300	-4.2%	480	-2.0%	530	5.2%	370	2.5%	43.1	4.00	
20/8H1	3,437	-0.2%	437	-10.7%	504	0.0%	368	2.0%	43.0	4.00	
20/8H2期初会予	3,900	49.4%	430	444.3%	430	3809.1%	310	黒転	36.1	4.00	
20/8H2修正会予(1/10)	4,100	57.0%	570	621.5%	570	5081.8%	400	黒転	46.6	4.00	
20/8H2修正会予(4/10)	3,963	51.8%	613	675.9%	596	5318.2%	402	黒転	46.7	4.00	
20/8期初会予	7,000	15.6%	710	24.7%	710	37.8%	490	39.2%	57.1	8.00	
20/8期修正会予(1/10)	7,400	22.2%	1,050	84.5%	1,100	113.6%	770	118.8%	89.7	8.00	
20/8期DO予	7,400	22.2%	1,050	84.5%	1,100	113.6%	770	118.8%	89.7	8.00	
21/8期DO予	9,700	31.1%	1,600	52.4%	1,650	50.0%	1,120	45.5%	130.5	13.00	
22/8期DO予	11,000	13.4%	2,050	28.1%	2,100	27.3%	1,430	27.7%	166.6	16.00	

年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
売上高	7,219	8,499	6,056	7,000	7,400	7,400	9,700	11,000
売上原価	4,183	4,744	3,875	4,590		4,640	5,950	6,700
売上総利益	3,036	3,756	2,181	2,390		2,760	3,750	4,300
販管費	1,550	1,929	1,611	1,680		1,710	2,150	2,250
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	1,050	1,600	2,050
経常利益	1,512	1,845	515	710	1,100	1,100	1,650	2,100
親株主帰属純利益	1,136	1,300	352	490	770	770	1,120	1,430
セグメント売上情報年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	6,390	7,483	4,960	5,800	6,200	6,350	8,400	9,400
研究機関・大学向	828	1,017	1,096	1,200	1,200	1,050	1,300	1,600
合計	7,219	8,500	6,056	7,000	7,400	7,400	9,700	11,300
セグメント営業利益	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	1,586	1,786	557			1,100	1,600	1,900
研究機関・大学向	-100	43	6			-50	0	150
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	1,050	1,600	2,050
セグメント受注	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	6,605	8,401	4,338			7,500	8,600	9,600
研究機関・大学向	1,132	983	718			1,100	1,300	1,700
受注合計	7,737	9,384	5,056			8,600	9,900	11,500
セグメント受注残	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	844	1,762	1,140			2,290	2,490	2,690
研究機関・大学向	671	637	259			309	309	409
受注残合計	1,515	2,402	1,399			2,599	2,799	2,999
年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	57.9%	55.8%	64.0%	65.6%		62.7%	61.3%	60.9%
売上総利益	42.1%	44.2%	36.0%	34.1%		37.3%	38.7%	39.1%
販管費	21.5%	22.7%	26.6%	24.0%		23.1%	22.2%	20.5%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	14.2%	16.5%	18.6%
経常利益	20.9%	21.7%	8.5%	10.1%	14.9%	14.9%	17.0%	19.1%
親株主帰属純利益	15.7%	15.3%	5.8%	7.0%	10.4%	10.4%	11.5%	13.0%
セグメント営業利益率	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	24.8%	23.9%	11.2%			17.3%	19.0%	20.2%
研究機関・大学向	-12.1%	4.2%	0.5%			-4.8%	0.0%	9.4%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	14.2%	16.5%	18.1%

